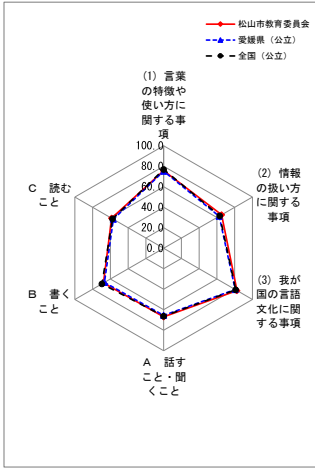


・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象児童数			松山市教育委員会		愛媛県（公立）	全国（公立）
			3,880		9,898	936,137
分類		区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）		
		全体	14	67	65	66.8
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に關する事項	2	75.7	75.2	76.9
		(2) 情報の扱い方に關する事項	1	65.3	62.5	63.1
		(3) 我が国の言語文化に關する事項	1	82.6	80.6	81.2
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	66.9	65.5	66.3
		B 書くこと	3	67.8	66.7	69.5
		C 読むこと	4	58.6	56.7	57.5
評価の観点	知識・技能		4	74.8	73.4	74.5
	思考・判断・表現		10	63.8	62.3	63.8
	主体的に学習に取り組む態度		0			
問題形式	選択式		9	64.8	63.1	64.7
	短答式		3	77.9	77.0	78.5
	記述式		2	60.1	59.0	58.8

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞



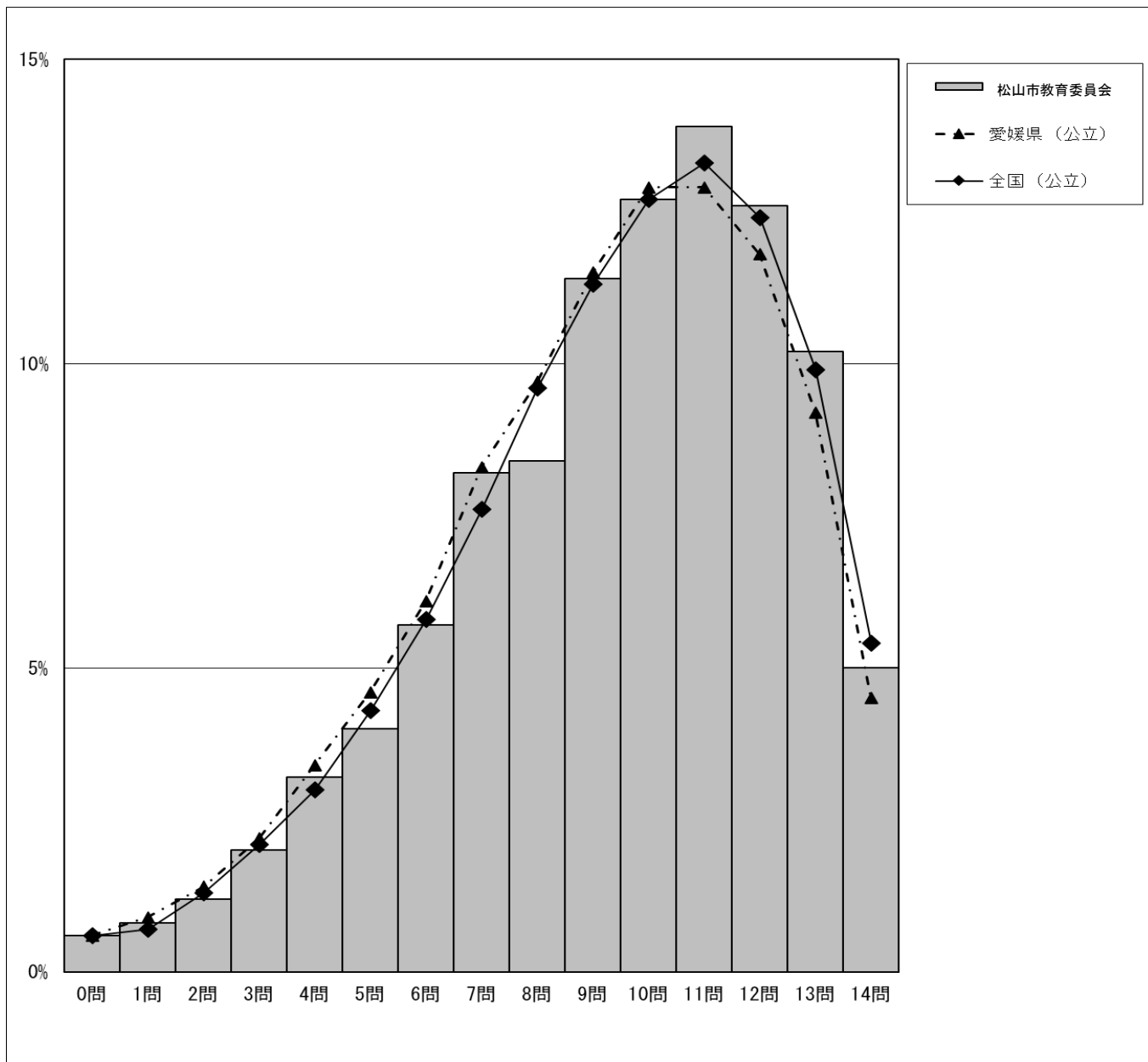
問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容									評価の観点			問題形式			正答率（%）			無解答率（%）			全国との差	
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			主体的に学習に取り組む態度			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）	松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）	正答率（プラスが良い）	無解答率（マイナスが良い）
			(1) 言葉の特徴や使い方に關する事項	(2) 情報の扱い方に關する事項	(3) 我が国の言語文化に關する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度														
1一	【話し合いの様子】における小森さんの傍線部の発言を説明したものとして適切なものを選択する	目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる				5・6ア				○	○							53.9	52.5	53.3	0.6	0.6	0.5	0.6	0.1
1二	【話し合いの記録】の書き表し方を説明したものとして適切なものを選択する	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる		5・6イ					○		○							65.3	62.5	63.1	0.5	0.6	0.5	2.2	0.0
1三（1）	【インタビューの様子の一部】で小森さんが傍線部Aのように発言した目的として適切なものを選択する	自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができるかどうかをみる				5・6エ				○	○							72.7	71.9	71.8	0.6	0.6	0.6	0.9	0.0
1三（2）	【インタビューの様子の一部】で小森さんが傍線部Bのように発言した理由として適切なものを選択する	話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる				5・6エ				○	○							74.1	72.3	73.7	0.7	0.6	0.6	0.4	0.1
2一	【ちらし】の文章の構成の工夫を説明したものとして適切なものを選択する	書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えたことができるかどうかをみる					3・4イ		○		○							62.3	61.4	65.5	0.8	0.9	0.8	-3.2	0.0
2二	山田さんが手ぬぐいの模様について言葉と図で説明した理由として適切なものを選択する	図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる				5・6エ			○		○							80.8	79.1	81.8	0.8	0.9	0.8	-1.0	0.0
2三	【ちらし】の二重傍線部を、【調べたこと】を基に詳しく書く	目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる				5・6ウ			○							○		60.2	59.6	61.3	3.4	3.5	5.0	-1.1	-1.6
2四ア	【ちらし】の下線部Aを、漢字を使って書き直す（このみ）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5・6エ						○									82.5	80.2	81.6	6.1	5.7	7.2	0.9	-1.1
2四イ	【ちらし】の下線部Bを、漢字を使って書き直す（あつひ日）		5・6エ						○									68.9	70.3	72.1	3.8	3.4	4.3	-3.2	-0.5
3一	【資料1】を読んで思い出した【木村さんの経歴】を通して、木村さんが気付いたこととして適切なものを選択する	時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができるかどうかをみる			5・6ウ				○		○							82.6	80.6	81.2	1.2	1.1	1.3	1.4	-0.1
3二（1）	【木村さんのメモ】の空欄Aに入る適切な言葉を【資料2】の中から書き抜く	時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができるかどうかをみる						1・2ア	○		○							82.5	80.7	81.6	2.1	2.1	2.9	0.9	-0.8
3二（2）	【資料3】を読み、【木村さんのメモ】の空欄Bに当てはまる内容として適切なものを選択する	事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうかをみる				5・6ア			○		○							51.1	49.4	51.3	1.8	1.8	2.4	-0.2	-0.6
3三（1）	【話し合いの様子】の田中さんの発言の空欄Aに当てはまる内容として適切なものを選択する	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる				5・6ウ			○		○							40.8	38.3	40.8	2.7	2.5	3.4	0.0	-0.7
3三（2）	【資料1】を読み返して言葉の変化について自分が納得したことを、【資料2】、【資料3】、【資料4】に書かれていることを理由にしてまとめて書く	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる				5・6ウ			○						○			60.1	58.4	56.3	10.7	10.6	16.2	3.8	-5.5

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
松山市教育委員会	3,880	9.4 / 14	67	10.0	3.0
愛媛県（公立）	9,898	9.2 / 14	65	10.0	3.1
全国（公立）	936,137	9.4 / 14	66.8	10.0	3.0

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）



・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

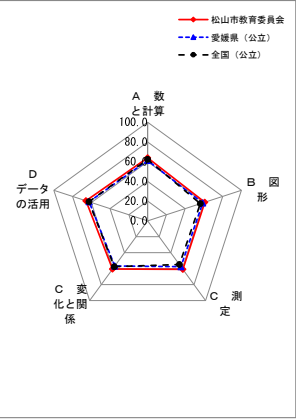
集計結果

対象児童数		松山市教育委員会		愛媛県（公立）	全国（公立）
		3,886		9,900	936,399

分類	区分	対象問題数 （問）	平均正答率（%）		
			松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）
全体		16	61	58	58.0
学習指導要領の領域	A 数と計算	8	63.9	61.2	62.3
	B 図形	4	61.0	58.7	56.2
	C 測定	2	60.8	57.5	54.8
	C 変化と関係	3	60.5	56.7	57.5
	D データの活用	5	65.7	62.4	62.6
評価の観点	知識・技能	9	67.4	65.1	65.5
	思考・判断・表現	7	52.8	49.3	48.3
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	6	69.3	66.8	67.2
	短答式	6	66.0	63.5	64.0
	記述式	4	41.2	37.5	34.9

（注）「学習指導要領の領域」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、各区分の問題数を合計した数は「全体」の問題数とは一致しない。

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

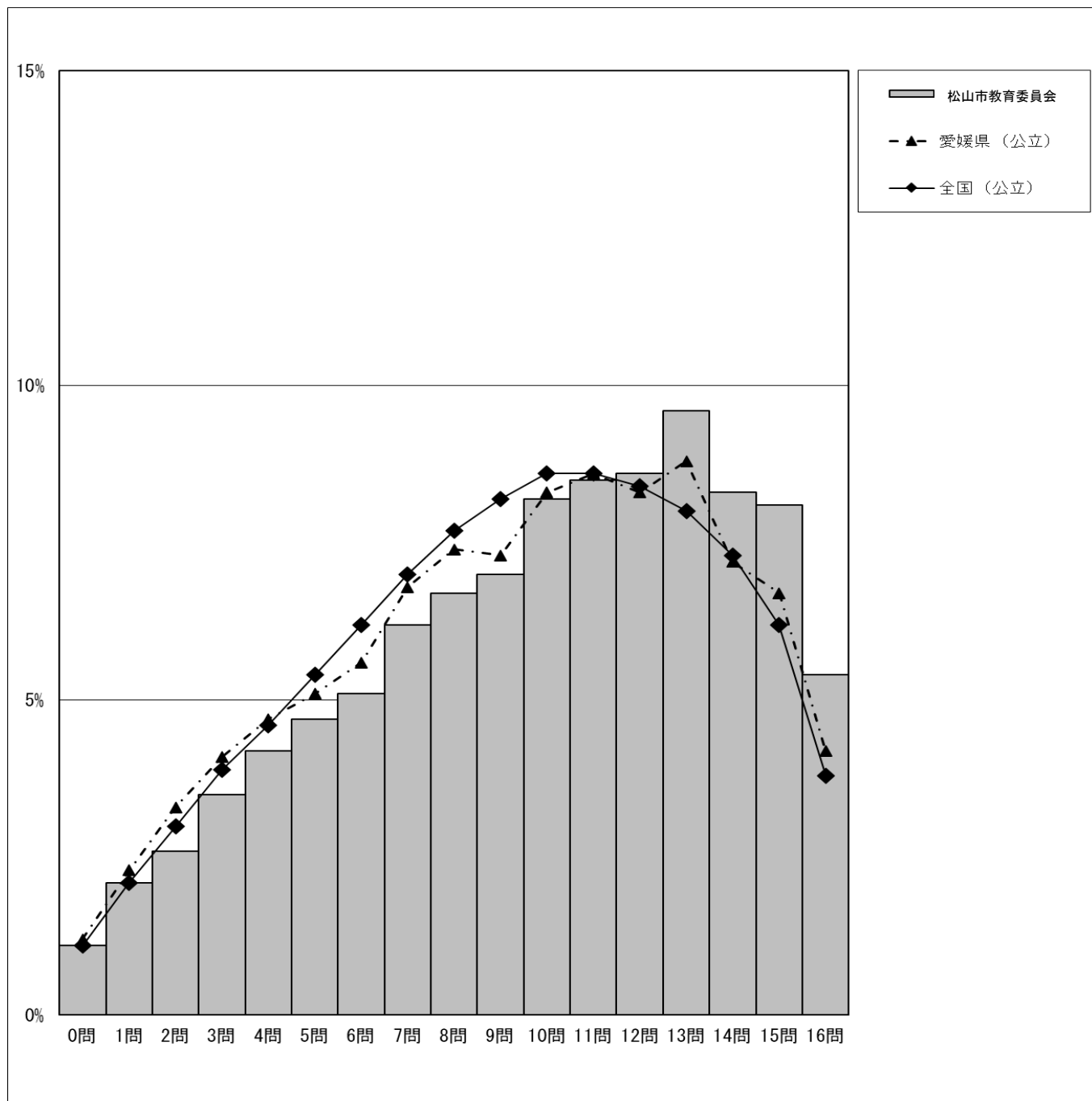
問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式		正答率（%）			無解答率（%）			全国との差	
			A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）	松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）	正答率（プラスが良い）	無解答率（マイナスが良い）
1（1）	2022年の全国のブロックリーの出荷量が2002年の全国のブロックリーの出荷量の約何倍かを、棒グラフから読み取って選ぶ	棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができるかどうかをみる	3(4) ア(ア)				3(1) ア(イ)	○			○		77.7	76.0	78.7	0.3	0.4	0.4	-1.0	-0.1
1（2）	都道府県Aのブロックリーの出荷量が増えたかどうかを調べるために、適切なグラフを選び、出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる	目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる					3(1) ア(イ) 5(1) ア(ア) イ(ア)	○			○		36.3	32.7	31.0	0.6	0.7	0.9	5.3	-0.3
1（3）	示された表から、「春だいこん」や「秋冬だいこん」より「夏だいこん」の出荷量が多い都道府県を選ぶ	簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことができるかどうかをみる					3(1) ア(ア)	○			○		75.8	71.8	71.6	2.3	2.7	3.5	4.2	-1.2
1（4）	示された資料から、必要な情報を選び、ピーマン1個とブロックリー4個の重さを求める式と答えを書く	示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算することができるかどうかをみる	4(6) ア(ア) イ(ア)					○			○		78.9	75.8	74.5	1.1	1.6	2.6	4.4	-1.5
2（1）	示された平行四辺形をかくために、コンパスの開く長さを書き、コンパスの針を刺す場所を選ぶ	平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することができるかどうかをみる	4(1) ア(イ)					○			○		60.9	58.2	58.3	0.8	0.9	1.2	2.6	-0.4
2（2）	方眼上の五つの図形の中から、台形を選ぶ	台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる	4(1) ア(イ)					○			○		58.6	56.2	50.2	0.4	0.6	0.7	8.4	-0.3
2（3）	角をつくる二つの辺をそれぞれのばした図形の角の大きさについてわかることを選ぶ	角の大きさについて理解しているかどうかをみる	4(5) ア(ア)					○			○		77.7	77.2	79.3	0.6	0.8	1.0	-1.6	-0.4
2（4）	五角形の面積を求めるために五角形を二つの図形に分割し、それぞれの図形の面積の求め方を書く	基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	5(3) ア(ア) ※					○			○		46.9	43.4	37.0	2.4	1.9	2.7	9.9	-0.3
3（1）	0、4÷0、0.5について、整数の加法で考えるときの共通する単位を書く	小数の加法について、数の相対的な大きさを用いて、共通する単位を捉えることができるかどうかをみる	4(4) ア(ア) ア(ア)					○			○		73.3	69.4	74.1	2.1	2.0	2.8	-0.8	-0.7
3（2）	3÷4と2÷3について、共通する単位分数と、3÷4と2÷3が、共通する単位分数の幾つ分になるかを書く	分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	5(5) ア(ア) イ(ア)					○			○		26.2	23.2	23.0	10.7	10.8	15.7	3.2	-5.0
3（3）	数直線上に示された数を分数で書く	数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができるかどうかをみる	3(6) ア(ア) イ(イ)					○			○		38.5	33.2	35.0	5.4	5.2	7.8	3.5	-2.4
3（4）	1÷2+1÷3を計算する	異分母の分数の加法の計算をすることができるかどうかをみる	5(5) ア(ア)					○			○		78.3	80.2	81.3	3.2	3.1	4.1	-3.0	-0.9
4（1）	新品のハンドソープが空になるまでに何プッシュすることができるかを調べるために、必要な事柄を選ぶ	伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことができるかどうかをみる	3(4) ア(ア)			4(1) ア(ア)	5(2) ア(ア)	○			○		83.1	80.7	82.8	1.6	1.7	2.6	0.3	-1.0
4（2）	使いかけのハンドソープがあと何プッシュすることができるかを調べるために、必要な事柄を判断し、求め方を書く	伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	3(4) ア(ア)	3(1) ア(ア)	4(1) イ(ア)	5(2) ア(ア)		○			○		55.4	50.8	48.7	2.0	2.1	3.4	6.7	-1.4
4（3）	はかりが示された場面ではかりの目盛りを読む	はかりの目盛りを読むことができるかどうかをみる			3(1) ア(イ)			○			○		66.1	64.2	60.9	2.4	2.6	4.2	5.2	-1.8
4（4）	10%増量したつめかえ用のハンドソープの内容量が、増量前の何倍かを調べる	「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができるかどうかをみる					5(3) イ(ア)		○		○		43.0	38.7	40.9	2.4	2.5	4.1	2.1	-1.7

※本設問においては、思考力、判断力、表現力等を見るために用いる知識及び技能を示している。

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
松山市教育委員会	3,886	9.8 / 16	61	10.0	4.1
愛媛県（公立）	9,900	9.3 / 16	58	10.0	4.1
全国（公立）	936,399	9.3 / 16	58.0	10.0	4.0

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）



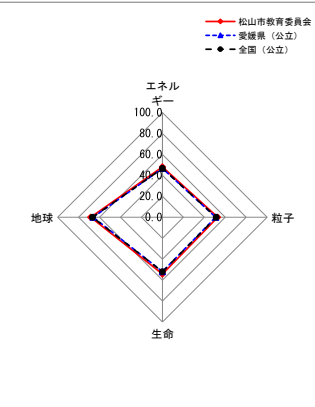
・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象児童数			松山市教育委員会		愛媛県（公立）	全国（公立）
			3,889		9,905	936,576
分類	区分		対象問題数 （問）	平均正答率（％）		
				松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）
全体			17	59	57	57.1
学習指導要領の区分・領域	Ａ区分	「エネルギー」を柱とする領域	4	48.1	46.7	46.7
		「粒子」を柱とする領域	6	52.8	50.9	51.4
	Ｂ区分	「生命」を柱とする領域	4	54.2	51.9	52.0
		「地球」を柱とする領域	6	68.4	66.1	66.7
評価の観点	知識・技能		8	57.5	56.0	55.3
	思考・判断・表現		9	59.6	57.1	58.7
	主体的に学習に取り組む態度		0			
問題形式	選択式		11	56.1	53.9	54.7
	短答式		4	71.2	70.0	69.7
	記述式		2	47.3	44.4	45.2

(注)「学習指導要領の区分・領域」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、各区分の問題数を合計した数は「全体」の問題数とは一致しない。

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

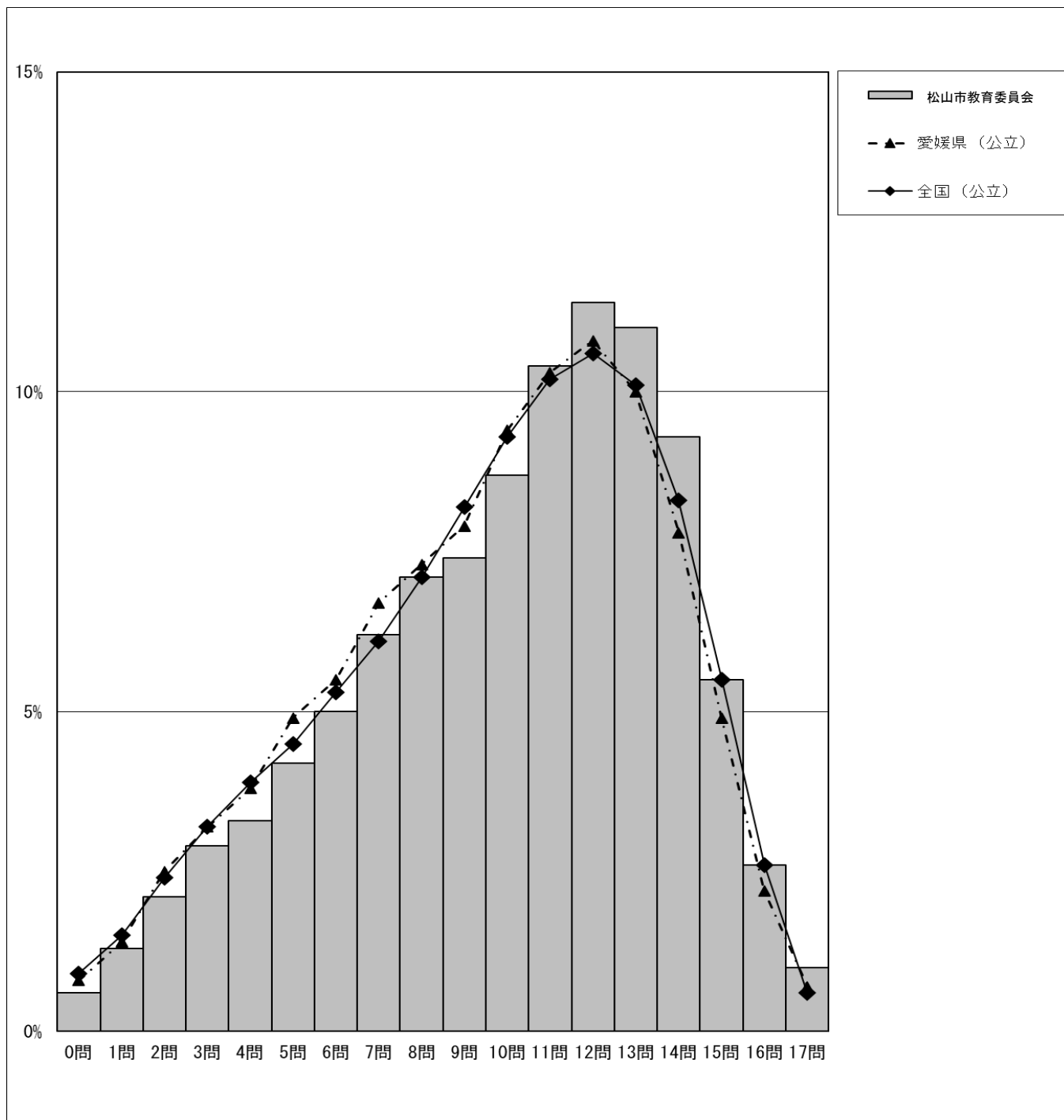
問題 番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の区分・領域		評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)			全国との差	
			A区分	B区分			松山市 教育委員会	愛媛県 （公立）	全国 （公立）	松山市 教育委員会	愛媛県 （公立）	全国 （公立）	正 答 率 （ プ ラ ス が 良 い ）	無 答 率 （ マ イ ナ ス が 良 い ）
			「エ ネ ル ギ ー」 を 柱 と す る 領 域	「粒 子」 を 柱 と す る 領 域										
1 (1)	赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み時間の違いを調べる実験の条件について、コップAの土の量と水の量から、コップBの条件を書く	赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる		4B (3)7 (4)8	○	○	78.2	76.0	79.5	1.6	1.6	2.5	-1.3	-0.9
1 (2)	赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いをまとめたわけについて、結果を用いて書く	赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現することができるかどうかをみる		4B (3)7 (4)8	○	○	67.9	64.2	60.5	5.4	5.4	8.5	7.4	-3.1
1 (3)	【結果】や【問題に対するまとめ】から、中くらいの粒の赤玉土に水がしみ込む時間を予想し、予想した理由とともに選ぶ	赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、【結果】や【問題に対するまとめ】を基に、他の条件での結果を予想して、表現することができるかどうかをみる		4B (3)7 (4)8	○	○	78.1	75.4	77.8	0.5	0.6	0.9	0.3	-0.4
2 (1)	アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか、磁石に引き付けられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶ	身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いているかどうかをみる	3A (5)7 (4)8	3A (4)7 (3)8	○	○	12.2	10.7	10.6	0.3	0.3	0.6	1.6	-0.3
2 (2)	電気を通す物と通さない物でできた人形について、人形Aの剣を人形Bに当てたときだけ、ベルが鳴る回路を選ぶ	電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる	3A (5)7 (7)8 (4)8		○	○	43.7	41.0	42.9	0.4	0.4	0.6	0.8	-0.2
2 (3)	ベルをたたく装置の電磁石について、電流がつくる磁力を強めるため、コイルの巻数の変え方を書く	電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身に付いているかどうかをみる	5A (3)7 (4)8		○	○	79.5	80.2	78.0	1.5	1.5	2.7	1.5	-1.2
2 (4)	乾電池2個のつなぎ方について、直列につなぎ、電磁石を強くできるものを選ぶ	乾電池のつなぎ方について、直列につなぎに関する知識が身に付いているかどうかをみる	4A (3)7 (7)8		○	○	57.1	54.7	55.1	0.4	0.4	0.8	2.0	-0.4
3 (1)	ヘチマの花のおしべとめしべについて選び、受粉について書く	ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いているかどうかをみる		5B (1)7 (2)8	○	○	76.6	75.0	70.7	0.9	0.8	1.5	5.9	-0.6
3 (2)	ヘチマの花粉を顕微鏡で観察するとき、適切な像にするための顕微鏡の操作を選ぶ	顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いているかどうかをみる		5B (1)7	○	○	48.6	46.1	45.6	0.7	0.6	0.8	3.0	-0.1
3 (3)	ヘチマの種子が発芽する条件を調べる実験において、条件を制御した解決の方法を選ぶ	発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる		5B (1)7 (4)8	○	○	65.2	61.8	62.0	1.4	1.2	1.7	3.2	-0.3
3 (4)	レタスの種子の発芽の結果から、てるみさんの気付きを基に、見いだした問題について書く	レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することができるかどうかをみる		5B (1)7	○	○	26.6	24.6	29.9	6.7	7.2	11.4	-3.3	-4.7
4 (1)	水の温まり方について、問題に対するまとめをいうために、調べる必要があることについて書く	水の温まり方について、問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現することができるかどうかをみる	4A (2)7 (4)8		○	○	50.7	48.8	50.6	3.2	3.6	6.1	0.1	-2.9
4 (2) イウ	水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識と関連付け、適切に説明しているものを選ぶ	水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解しているかどうかをみる	4A (2)7 (5)8	4B (4)7 (4)8	○	○	65.6	64.5	64.2	0.9	0.8	1.3	1.4	-0.4
4 (2) エオ	水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識と関連付け、適切に説明しているものを選ぶ	水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解しているかどうかをみる	4A (2)7 (5)8	4B (4)7 (4)8	○	○	62.3	59.4	57.5	1.0	0.9	1.5	4.8	-0.5
4 (3) カ	海にある水がとけることについて、水が氷に変わる温度を根拠に予想しているものを選ぶ	水が氷に変わる温度を根拠に、オホーツク海の水の面積が減少した理由を予想し、表現することができるかどうかをみる	4A (2)7 (5)8		○	○	60.0	57.9	59.8	1.5	1.3	2.3	0.2	-0.8
4 (3) キ	水が陸から海へ流れていくことについて、水の行方と関連付けているものを選ぶ	水がとけてできた水が海に流れていくことの根拠について、理科で学習したと関連付けて、知識を概念的に理解しているかどうかをみる		4B (3)7 (7)8	○	○	58.3	57.1	60.9	1.7	1.4	2.4	-2.6	-0.7
4 (3) ク	海面水位の上昇について、水の温度による体積の変化を根拠に予想しているものを選ぶ	「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現することができるかどうかをみる		4A (2)7 (7)8	○	○	65.8	63.9	65.6	1.6	1.4	2.5	0.2	-0.9

※本設問においては、思考力、判断力、表現力等をみるために用いる知識及び技能を示している。

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
松山市教育委員会	3,889	10.0 / 17	59	11.0	3.8
愛媛県（公立）	9,905	9.6 / 17	57	10.0	3.8
全国（公立）	936,576	9.7 / 17	57.1	10.0	3.8

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）

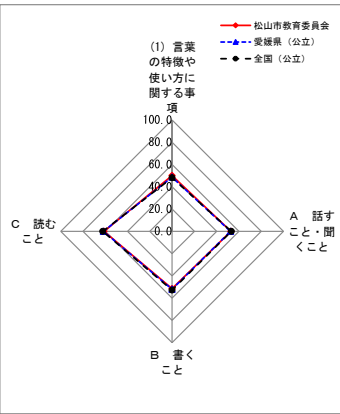


・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数			松山市教育委員会		愛媛県（公立）		全国（公立）	
			3,439		9,521		870,560	
分類		区分		対象問題数 （問）	平均正答率（％）			
					松山市教育委員会		愛媛県（公立）	
全体					14	54	54	54.3
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	2	50.0	48.6	48.1		
		(2) 情報の扱い方に関する事項	0					
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0					
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	4	52.8	52.4	53.2		
		B 書くこと	5	51.5	52.1	52.8		
		C 読むこと	3	61.2	61.7	62.3		
評価の観点	知識・技能	2	50.0	48.6	48.1			
	思考・判断・表現	12	54.4	54.6	55.3			
	主体的に学習に取り組む態度	0						
問題形式	選択式	8	64.4	63.9	63.9			
	短答式	2	72.8	73.5	73.6			
	記述式	4	23.0	23.6	25.3			

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞



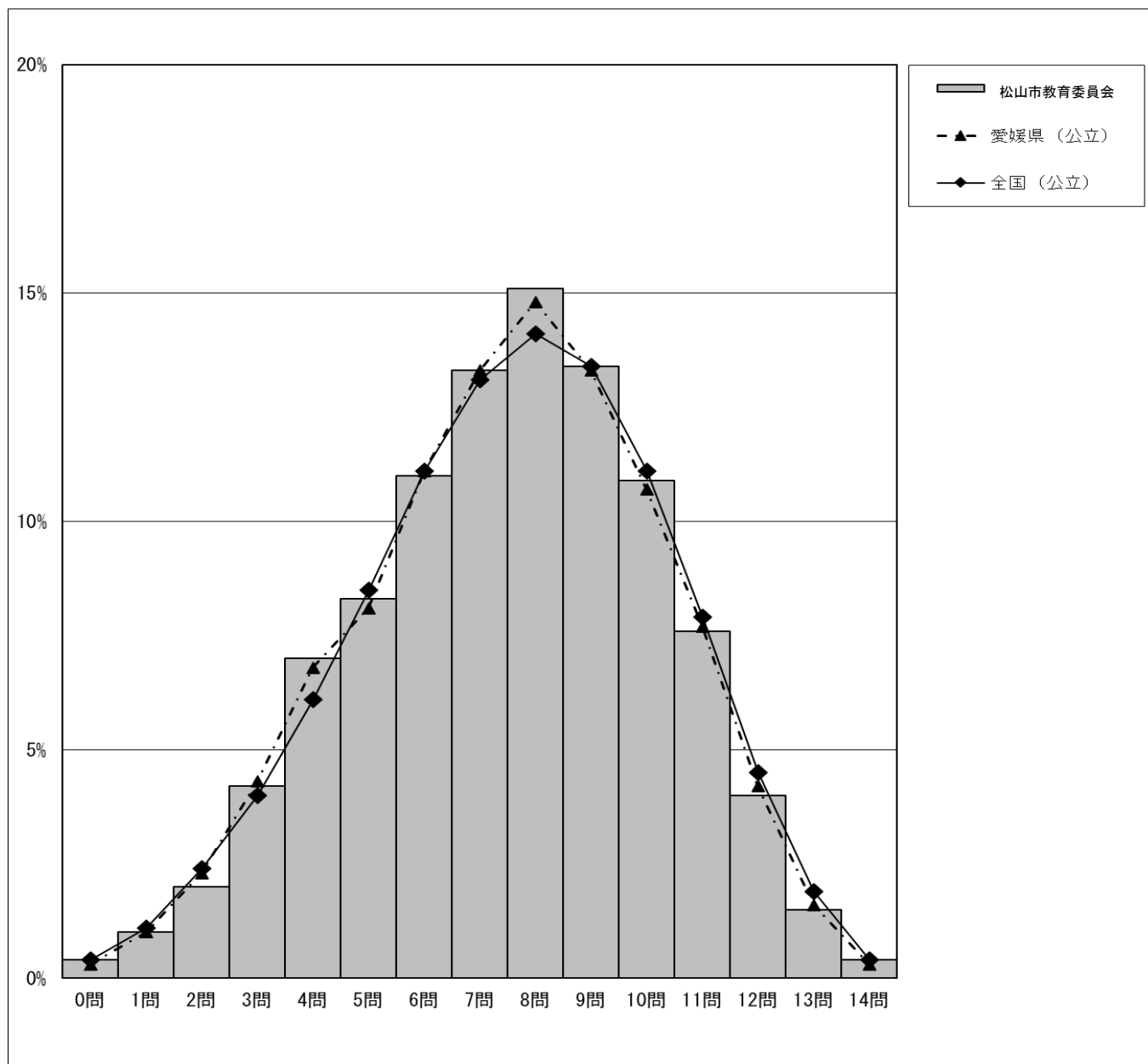
問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点	問題形式			正答率(%)			無解答率(%)			全国との差		
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等															
			(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項	(2) 情報の扱い方に 関する事項	(3) 我が国の言語文化に 関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り 組む態度	選択式	短答式	記述式	松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）	松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）
1一	変換した漢字として適切なものを選択する（かいしん）	文脈に即して漢字を正しく使うことができるかどうかをみる	2ウ							○				36.4	34.4	35.2	0.3	0.2	0.2	1.2	0.1
1二	ちらしに「金増園」を加えた目的を説明したものとして適切なものを選択する	目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる					1ア			○				83.1	84.0	82.5	0.2	0.2	0.2	0.6	0.0
1三	ちらしの中の情報について、示す位置を変えた意図を説明したものとして適切なものを選択する	書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えることができるかどうかをみる					1イ			○				63.2	62.8	63.3	0.5	0.3	0.5	-0.1	0.0
1四	ちらしの読み手に向けて、今年の美術展の工夫について伝える文章を書く	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる					1ウ			○		○		27.9	29.3	31.0	1.6	1.2	1.6	-3.1	0.0
2一	スライドを使ってどのように話しているのかを説明したものとして適切なものを選択する	資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる					2ウ			○		○		37.5	38.0	38.1	0.4	0.3	0.3	-0.6	0.1
2二	聞き手の反応を見て発した言葉について、そのように発言した理由を説明したものとして適切なものを選択する	相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる					1ウ			○		○		78.4	77.6	77.9	0.3	0.3	0.3	0.5	0.0
2三	「話の順序を入れ替えた方がよい」という助言の意図を説明したものとして適切なものを選択する	自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することができるかどうかをみる					2イ			○		○		72.9	72.0	73.4	0.8	0.6	0.6	-0.5	0.2
2四	発表のまとめの内容をより分かりやすく伝えるためのスライドの工夫について、どのような助言をするか、自分の考えを書く	資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる					2ウ			○			○	22.4	22.1	23.2	5.1	4.1	4.0	-0.8	1.1
3一	物語の始めに開いかけが示されていることについて、その効果を説明したものとして適切なものを選択する	表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる						1エ		○		○		79.9	79.7	80.0	0.5	0.5	0.5	-0.1	0.0
3二	「兄」と「弟」が、物語の中でどのような性格の人物として描かれているかを書く	文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができるかどうかをみる						2ア		○			○	90.5	90.8	89.9	3.5	3.2	4.0	0.6	-0.5
3三	「しきりと」の意味として適切なものを選択する	事象や行為を表す語彙について理解しているかどうかをみる	1ウ							○		○		63.5	62.7	61.0	0.8	0.7	0.8	2.5	0.0
3四	「一 榎木の実」に書かれている場面が、「二 釣の話」には書かれていないことによる効果について、自分の考えとそう考えた理由を書く	文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる						1エ		○			○	13.2	14.6	17.1	35.0	31.1	28.1	-3.9	6.9
4一	手紙の下書きを見直し、誤って書かれている漢字を見付けて修正する	読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる					1エ			○			○	55.1	56.1	57.3	35.7	34.5	33.5	-2.2	2.2
4二	手紙の下書きを見直し、修正した方がよい部分を見付けて修正し、修正した方がよいと考えた理由を書く	読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる					1エ			○			○	28.3	28.5	30.1	23.1	21.1	19.1	-1.8	4.0

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
松山市教育委員会	3,439	7.5 / 14	54	8.0	2.7
愛媛県（公立）	9,521	7.5 / 14	54	8.0	2.7
全国（公立）	870,560	7.6 / 14	54.3	8.0	2.7

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）

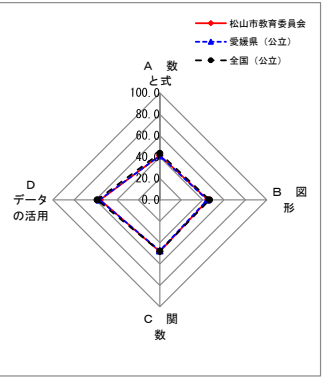


・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数		松山市教育委員会		愛媛県（公立）	全国（公立）
		3,445		9,530	871,097
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）
全体		15	47	46	48.3
学習指導要領の 領域	A 数と式	5	41.4	41.2	43.5
	B 図形	4	45.1	44.4	46.5
	C 関数	3	48.4	47.6	48.2
	D データの活用	3	55.8	56.4	58.6
評価の観点	知識・技能	9	52.4	52.5	54.4
	思考・判断・表現	6	38.0	37.3	39.1
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	3	52.7	52.4	54.0
	短答式	7	49.6	49.7	52.0
	記述式	5	38.9	38.1	39.6

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)			全国との差	
			A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）	松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）	正答率（プラスが良い）	無答率（マイナスが良い）
1	1から9までの数の中から素数を全て選ぶ	素数の意味を理解しているかどうかをみる	$\frac{1}{7}$ (1)				○			○		29.6	29.4	31.8	0.5	0.5	0.7	-2.2	-0.2	
2	果汁40%の飲み物a mLに含まれる果汁の量を、aを用いた式で表す	数量を文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる	$\frac{1}{2}$ (2)				○			○		50.4	50.6	51.9	7.9	6.6	7.3	-1.5	0.6	
3	△ABCにおいて、∠Aの大きさが50°のときの頂点Aにおける外角の大きさを求める	多角形の外角の意味を理解しているかどうかをみる	$\frac{2}{4}$ (1)				○			○		59.5	57.8	58.1	1.9	1.7	2.0	1.4	-0.1	
4	一次関数y=6x+5について、xの増加量が2のときのyの増加量を求める	一次関数y=ax+bについて、変化の割合を基に、xの増加量に対するyの増加量を求めることができるかどうかをみる	$\frac{2}{7}$ (1)				○			○		37.9	35.7	34.7	8.8	7.9	8.0	3.2	0.8	
5	ある学級の生徒40人のハンドボール投げの記録をまとめた度数分布表から、20m以上25m未満の階級の相対度数を求める	相対度数の意味を理解しているかどうかをみる	$\frac{1}{7}$ (1)				○			○		34.2	36.8	42.5	10.2	8.6	9.4	-8.3	0.8	
6 (1)	連続する二つの3の倍数の和が9の倍数になるとは限らないことの説明を完成するために、予想が成り立たない例をあげ、その和を求める	事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげるかどうかをみる	$\frac{2}{7}$ (1)				○			○		54.7	57.5	62.8	4.2	3.9	4.6	-8.1	-0.4	
6 (2)	3nと3n+3の和を2(3n+1)+1と表した式から、連続する二つの3の倍数の和がどんな数であるかを説明する	式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる	$\frac{2}{4}$ (1)				○			○		24.6	23.6	25.7	28.6	26.9	24.9	-1.1	3.7	
6 (3)	連続する三つの3の倍数の和が、9の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる	$\frac{2}{4}$ (1)				○			○		47.9	45.1	45.2	22.5	21.2	20.2	2.7	2.3	
7 (1)	Aの手元のカードが3枚とも「グー」、Bの手元のカードが3枚とも「チョキ」でじゃんけんカードゲームの1回目を行うとき、1回目にAが勝つ確率を書く	必ず起こる事柄の確率について理解しているかどうかをみる	$\frac{2}{7}$ (2)				○			○		77.0	76.4	77.4	3.0	2.6	3.2	-0.4	-0.2	
7 (2)	Aの手元のカードが「グー」、「チョキ」、「パー」、「パー」の4枚、Bの手元のカードが「グー」、「チョキ」の2枚のとき、AとBの勝ちやすさについての正しい記述を選び、その理由を確率を用いて説明する	不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる	$\frac{2}{4}$ (2)				○			○		56.3	55.9	55.9	2.6	2.0	2.2	0.4	0.4	
8 (1)	A駅からの走行距離と運賃の関係を表すグラフの何を読み取ればC駅とD駅の間の走行距離が分かるかを選ぶ	事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる	$\frac{1}{9}$ (1)				○			○		71.3	71.2	71.9	2.8	2.2	2.3	-0.6	0.5	
8 (2)	A駅から60.0km地点につくられる新しい駅の運賃がおよそ何円になるかを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる	$\frac{1}{4}$ (1)				○			○		35.9	35.9	38.0	39.1	36.8	35.0	-2.1	4.1	
9 (1)	四角形AECFが平行四辺形であることの証明を振り返り、新たに分かることを選ぶ	証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだすことができるかどうかをみる	$\frac{2}{4}$ (2)				○			○		57.4	56.8	58.5	1.3	1.0	1.1	-1.1	0.2	
9 (2)	平行四辺形ABCDの辺CB、ADを延長した直線上にBE=DFとなる点E、Fを取っても、四角形AECFは平行四辺形となることの証明を完成する	統一的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができるかどうかをみる	$\frac{2}{7}$ (2)				○			○		33.7	33.3	36.3	9.0	7.3	7.2	-2.6	1.8	
9 (3)	平行四辺形ABCDの辺BC、DAを延長した直線上にBE=DFとなる点E、Fを取り、辺ABと線分FCの交点をG、辺DCと線分AEの交点をHとしたとき、四角形AGCHが平行四辺形になることを証明する	ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる	$\frac{2}{4}$ (2)				○			○		29.9	29.8	33.2	35.8	33.2	31.5	-3.3	4.3	

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
松山市教育委員会	3,445	7.0 / 15	47	7.0	4.2
愛媛県（公立）	9,530	7.0 / 15	46	7.0	4.2
全国（公立）	871,097	7.2 / 15	48.3	7.0	4.2

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）



・以下の集計値は、4月14日から4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。
※正答率のイタリック（下線付き）の数値は「予測正答率」を表す。ここでの「予測正答率」とは、貴教育委員会が出題されなかった公開問題について、全国の解答状況に基づき、貴教育委員会生徒と同程度のIRTスコアにおいて期待される正答率を指す。
※「予測正答率」や「問題の難易度」を示す対象としない問題については空欄となっている。

問題別集計結果（公開問題）

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)			問題の難易度	対象生徒数			全国との差	
			「エネルギー」を柱とする領域	「種子」を柱とする領域	「地球」を柱とする領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組み態度	選択式	短答式	記述式	松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）	松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）		松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）	正答率（プラスが良い）	無解答率（マイナスが良い）
1（1）	電熱線を利用して水を温めるための電気回路について、電熱線と並列で回路全体の抵抗が大きい装置や速く水を温める装置を選択する	電熱線で水を温める学習場面において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる	(3) (7) ②			○			○			50.0	49.0	51.9	0.2	0.2	0.2	5	3,459	9,542	864,634	-1.8	0.0
1（2）	「理科の実験では、なぜ水道水ではなく精製水を使うのかな？」という疑問を解決するための課題を記述する	身の回りの事象から生じた疑問や思いだした問題を解決するための課題を設定できるかどうかをみる	(2) (7) ②				○				○	42.8	42.8	46.2	15.0	11.8	8.0	5	3,459	9,542	864,634	-3.4	7.0
1（3）	地層1から地層4までの性質が、水が染み出る場所を判断し、その場所を選択する	露頭のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する岩石の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈できるかどうかをみる			(2) (7) ②		○		○			35.5	35.6	36.2	0.7	0.6	0.6	5	3,459	9,542	864,634	-0.7	0.1
1（4）	生物1から生物4までの動画を見て、呼吸を行う生物をすべて選択する	水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識が概念として身に付いているかどうかをみる			(3) (7) ②		○		○			31.0	30.4	29.7	0.2	0.2	0.2	5	3,459	9,542	864,634	1.3	0.0
1（5）	塩素の元素記号を記述する	塩素の元素記号を問うことで、元素を記号で表すことに関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる			(4) (7) ②		○			○		43.2	42.6	44.9	14.1	11.0	8.5	4	3,459	9,542	864,634	-1.7	5.6
1（6）	水道水と精製水に関する2人の発表を見て、探究の過程におけるあなただけの振り返りを記述する	科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できるかどうかをみる			(2) (7) ②		○		○			69.0	72.7	79.4	19.6	15.4	9.9	3	3,459	9,542	864,634	-10.4	9.7
2（1）	【考察】をより確かなものにするために必要な実験を選択し、予想される実験の結果を記述する	【考察】をより確かなものにするために、音に関する知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明できるかどうかをみる	(1) (7) ②				○				○	12.9	13.9	14.0	3.0	2.3	1.9	5	1,101	2,433	203,127	-1.1	1.1
2（2）	「Webページの情報だけを信用して考察してよいか」について判断し、その理由として適切なものをすべて選択する	ストローの太さや音の高低に関する情報を収集してまとめを行う学習活動の場面で、収集する資料や情報の信頼性についての知識及び技能が身に付いているかどうかをみる	(1) (7) ②			○			○			94.3	93.7	94.6	0.3	0.2	0.1	2	1,101	2,433	203,127	-0.3	0.2
3（1）	設定した【仮説】が正しい場合の実験結果の予想を選択する	仮説を立てて科学的に探究する学習場面において、電気回路に関する知識及び技能を活用して、仮説が正しい場合の結果を予想することができるかどうかをみる	(3) (7) ②				○					33.8	36.6	34.9	0.0	0.2	0.2	5	518	1,987	220,884	-1.1	-0.2
3（2）	抵抗に関する知識を手帳かりに、身近な電気回路に抵抗がついている理由を選択する	身近な電気製品の電気回路について探究する学習場面において、回路に抵抗がついている理由を問うことで、抵抗に関する知識が概念として身に付いているかどうかをみる	(3) (7) ②				○		○			82.6	84.4	85.2	0.0	0.1	0.1	2	518	1,987	220,884	-2.6	-0.1
4（1）	プロパンガスと都市ガスでシャボン玉を作ったときの様子から、プロパンガス、都市ガス、空気の密度の大きさを判断し、小さい順に並べる	ガス置換器の設置場所が異なる理由を考える学習場面において、実験の様子と、密度に関する知識及び技能を関連付けて、それぞれの気体の密度の大小関係を分析して解釈できるかどうかをみる	(2) (7) ②						○			53.2	51.8	50.4	0.1	0.1	0.1	4	853	2,490	220,314	2.8	0.0
4（2）	「一酸化炭素は空気より軽い」という性質を基に、適切な避難行動を選択する	火災における適切な避難行動を問うことで、気体の性質に関する知識が概念として身に付いているかどうかをみる	(2) (7) ②				○		○			90.6	92.6	92.8	0.1	0.1	0.1	2	853	2,490	220,314	-2.2	0.0
5（1）	加熱を伴う実験において、火傷をしたときの適切な応急処置を選択する	加熱を伴う実験における実験器具の操作等に関する技能が身に付いているかどうかをみる	(2) (7) ②				○		○			94.9	94.0	93.0	0.0	0.0	0.1	1	987	2,632	220,309	1.9	-0.1
5（2）	実験の動画と実験結果の図から、どのような化学変化が起きているかを判断し、原子や分子のモデルを移動させることで、その化学変化をモデルで表す	化学変化に関する知識及び技能を活用して、実験の結果を分析し、原子や分子のモデルを移動させることで、その化学変化をモデルで表すことができるかどうかをみる	(4) (4) ②				○				○	37.3	37.0	35.6	8.3	6.3	4.6	4	987	2,632	220,309	1.7	3.7
6（1）	牧野富太郎の「ノジギク」のスケッチから分かるスケッチの技能について、適切なものを選択する	スケッチから分かることを問うことで、スケッチに関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる	(1) (7) ②				○		○			60.2	62.8	65.9	0.2	0.3	0.2	4	518	1,987	220,884	-5.7	0.0
6（2）	牧野富太郎の「サクユリ」のスケッチから、サクユリの【茎の横断面】、【根】として適切なものを判断し、選択する	スケッチから分かる植物の特徴を基に、植物の茎、葉、根のつくりに関する知識及び技能を活用して、植物の茎の横断面や根の構造について適切に表現できるかどうかをみる	(3) (4) ②				○		○			40.7	41.8	41.9	0.0	0.1	0.1	4	518	1,987	220,884	-1.2	-0.1
7（1）	小腸の柔毛、肺の肺胞、根毛に共通する構造と同じ構造をもつものとして適切な事象を判断し、選択する	小腸の柔毛、肺の肺胞、根毛に共通する構造について学習する場面において、共通性と多様性の見方を働かせながら比較し、多面的、総合的に分析して解釈することができるかどうかをみる	(3) (7) ②				○		○			37.7	35.3	34.8	0.1	0.2	0.2	5	853	2,490	220,314	2.9	-0.1
7（2）	消化によってデンプンがブドウ糖に分解されることと、同じ化学変化であるものを選択する	分解に関する身近な事象を問うことで、これまで学習した理科の知識及び技能を基に、化学変化の分解の知識が概念として身に付いているかどうかをみる	(4) (7) ②	(3) (4) ②			○		○			61.7	56.1	51.6	0.2	0.2	0.2	5	853	2,490	220,314	10.1	0.0
8（1）	大地の変化に関する言い伝えを1つ選択し、その選択した言い伝えが科学的に正しいと判断するための理由を「地層を調べたときと同じに分かれやすいか」に着目して記述する	地域の言い伝えを科学的に探究する学習場面において、大地の変化と、地層の様子やその構成物に関する知識及び技能を関連付けて、地層の重なり方や広がり方を推定できるかどうかをみる			(2) (4) ②		○				○	44.5	42.5	42.2	7.7	5.5	3.2	4	987	2,632	220,309	2.3	4.5
8（2）	Aさんの考えを肯定するためにはボーリング地点③の結果がどのようにいなければならないかを判断し、青色の地層を移動させ、ボーリング地点③の結果をモデルで示す	大地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて、地層の広がりを検討して表現できるかどうかをみる			(2) (4) ②		○		○			18.5	18.9	18.1	2.3	1.7	1.1	5	987	2,632	220,309	0.4	1.2
9（1）	【予想】から学習した内容が反映されたAさんの【振り返り】を読み、Aさんの【予想】を判断し、選択する	気圧について科学的に探究する場面において、状態変化や圧力に関する知識及び技能を基に、予想が反映された振り返りについて問うことで、探究の過程の見通しについて分析して解釈できるかどうかをみる			(4) (7) ②		○		○			33.4	30.7	31.8	0.4	0.5	0.3	5	1,101	2,433	203,127	1.6	0.1
9（2）	クリーンルームの床に気圧を利用している身近な事象を選択する	気圧に関する身近な事象を問うことで、気圧の知識が概念として身に付いているかどうかをみる			(4) (7) ②		○		○			53.4	50.8	58.1	0.5	0.4	0.3	4	1,101	2,433	203,127	-4.7	0.2

・以下の集計値／グラフは、4月14日から4月17日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

平均正答数集計値

	生徒数	平均正答数	標準偏差
松山市教育委員会	3,459	2.7 / 6	1.5
愛媛県（公立）	9,542	2.7 / 6	1.5
全国（公立）	864,634	2.9 / 6	1.4

IRTスコア集計値

	平均IRTスコア	標準偏差	パーセンタイル値				
			10%	25%	50%	75%	90%
松山市教育委員会	500	129.0	348	411	491	574	658
愛媛県（公立）	499	127.3	352	413	490	571	651
全国（公立）	503	124.0	361	422	495	572	652

IRTバンド分布グラフ(横軸:IRTバンド 縦軸:割合)

